

平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社
代 表 者 代表取締役社長 村上 義憲
(コード 2156 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 社長室 西分 太郎
(電話 087-825-1156)

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

【平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正】

(1) 平成 28 年 3 月期通期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)
前回予想 (A)	9, 500	210	230
今回予想 (B)	9, 100	100	115
増減額 (B-A)	△400	△110	△115
増減率 (%)	△4. 2	△52. 4	△50. 0
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	9, 264	184	201

(2) 修正理由

当社グループの業績につきましては、例年通り、当初第 3 四半期から第 4 四半期にかけての年末年始商戦に伴う広告需要の高まりや、各企業の事業年度末のプロモーション展開、官公庁催事案件などの完了を見込み、年後半のウェイトを高く見積もっておりましたが、年後半に向かうにつれ、広告主のプロモーション活動に対する慎重な姿勢がより顕著となり、こうした企業マインドの低下が広告主の販売スキームの変化や業績不振による広告出稿の中止、あるいは、営業縮小に伴う広告予算の削減などとして表面化し、当社グループを取り巻く環境は限られた広告予算を奪い合う厳しい環境となっております。以上から、当連結会計年度通期の当社グループの売上高は 9,100 百万円 (当初予想比 4.2%減) となる見通しです。

利益面におきましては、競争が激化する環境のなか、積極的な営業力強化を図ったことによる人件費の増加に加え、今期は、期首から連結の範囲に含めた子会社の費用の計上と、同じく子会社において始めた新規事業に要する費用の計上があるため、販売費及び一般管理費につきましては例年よりも高水準となる結果、営業利益は 100 百万円 (当初予想比 52.4%減)、経常利益は 115 百万円 (当初予想比 50.0%減) となる見通しです。

当社グループにおきましては、現在交渉中の案件も含め、引き続き全役職員が一丸となって売上および収益の確保に努めてまいります。

※上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。